

ゆいぐみだより

2020年2月
尚徳福祉会 馬橋保育園



手作りの「ダイヤ凧」と「骨付き凧」を持って広い空き地に行ったゆい組さん。冬の寒さも何のその、風に乗って舞い上がる凧に夢中になり、元気いっぱい走り回っていました。水耕栽培のヒヤシンスにも興味津々で、「紫色の花が咲いたよ」「わあ、いいにおいがするー」と生長を楽しんでいます。劇あそびにも意欲的で、友だちと一緒に大きな声でセリフを復唱しては笑い合っています。

今月は生活発表会に向けて、劇や歌などの表現活動に本格的に取り組みます。みんなで工夫して小道具や衣装を作り上げるといふ、プロセスそのものの楽しさも味わっていきたいと思います。

今月のわらい

- 自分なりのイメージをふくらませながら、表現遊びを楽しむ。
- ルールのある遊びや集団ゲームを友だちと一緒に楽しむ。
- 一日の生活の流れを見通しながら、自ら活動しようとする。

お知らせとお願い

- ★2月14日(金)午後2時より保護者会、3時半より生活発表会が開催されます。
- ★様々な活動や長距離散歩の予定もありますので、9時半までの登園ご協力をお願いします。

「さあ、切り替えスイッチ入れるよー！」

夕方の会で、「ずっと遊んでいても、片づけやお昼寝の時間には、気持ちの切り替えができるかっこいいね」という話しをして、「切り替えスイッチ」という合言葉を作りました。子どもたちは、「切り替えスイッチ、ピッ!」と自分自身に言ったり、「ほら、切り替えスイッチだよ!」と友だち同士で声をかけ合ったりしながら、スムーズに次の活動に移行するようになってきました。「もうすぐひまわり組さんになる」という意識も芽生えているようで、そんな子どもたちの成長ぶりが印象的です。

「トランプが足りない? みんなで調べようよ!」

トランプが大流行のゆい組さん。今では「スピードや七並べ」のルールも理解して、子ども同士で楽しんでいます。「カードが足りない」と大騒ぎになったときは、同じ数字のトランプを赤(ダイヤ&ハート)と黒(スペード&クローバ)に分類し、ふたりで同時に数を数え合っていました。10を超えると周囲の友だちも指折りしながら手伝うなど、自分たちなりにトランプの枚数を調べる方法を工夫していたのです。問題解決に取り組む子どもたちの主体的な姿に感動しました。

2月生まれのお友だち

★おたんじょうび おめでとう★

嬉しいつばやき&エピソード

「大きくなったら、馬橋保育園の先生になるのが楽しみです」と、ある日お絵描き当番が発表。「本当? ずっとここで待っているから、一緒にゆい組の先生をしようね」と言うと、そのやり取りを聞いていた子が、「くるみ先生、ちょっと手相見せて」とささず手のひらをチェック。「あっ大丈夫だ。結構長生きするかも」と、なんと嬉しいお墨付きをいただくことができました。